様式１－１

大学等名	愛知医科大学
プログラム名	愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件　　学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

医学部

③ 修了要件

プログラムを構成する「医療のための情報学」2単位、「ICTリテラシー」0.5単位、~~「行動科学1a」0.5単位~~、「統計学1」0.5単位の計~~3.5~~ 3単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数　~~4~~ 3 科目　~~3.5~~ 3 単位　履修必須の有無　令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
医療のための情報学	2	○	○	○					
~~行動科学1a~~	~~0.5~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
医療のための情報学	2	○	○	○					
~~行動科学1a~~	~~0.5~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~					

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
~~行動科学1a~~	~~0.5~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~					
医療のための情報学	2	○	○	○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ICTリテラシー	0.5	○	○	○					

⑧「実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
医療のための情報学	2	○	○	○	○						
統計学1	0.5	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
統計学1	4-1統計および数理基礎		
医療のための情報学	4-2アルゴリズム基礎		
医療のための情報学	4-3データ構造とプログラミング基礎		
医療のための情報学	4-6画像解析		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
（1）現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	~~・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「行動科学1a」（5回目）~~ ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「医療のための情報学」（~~8~~14回目）
	1-6	~~・AI最新技術の活用例（深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習）「行動科学1a」（5回目）~~ ~~・AI等を活用した新しいビジネスモデル（商品のレコメンデーション）「医療のための情報学」（12回目）~~ ・AI最新技術の活用例（強化学習、生成AIなど）「医療のための情報学」（14回目）
（2）「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	~~・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「行動科学1a」（4回目）~~ ・1次データ、2次データ、データのメタ化「医療のための情報学」（~~8~~14回目） ・データのオープン化（オープンデータ）「医療のための情報学」（~~8~~16回目）
	1-3	~~・仮説検証「行動科学1a」（4回目）~~ ~~・サービス「行動科学1a」（5回目）~~ ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成「医療のための情報学」（~~10~~14回目）
（3）様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	~~・データ解析：パターン発見「行動科学1a」（4回目）~~ ~~・データ可視化：複合グラフ、2軸グラフ「行動科学1a」（4回目）~~ ~~・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、認識技術、自動化技術「行動科学1a」（5回目）~~ ・特化型AIと汎用AI、AIとビッグデータ「医療のための情報学」（~~10~~14回目）
	1-5	~~・ヘルスケアにおけるデータ・AI利活用事例紹介「行動科学1a」（4回目）~~ ・~~サービス教育~~、ヘルスケアにおけるデータ・AI利活用事例紹介「医療のための情報学」（~~12~~14回目）

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELSI、GDPR、個人情報保護、忘れられる権利、オプトアウト、データ倫理、データバイアス、アルゴリズムバイアス「ICTリテラシー」(9回目) ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫 など)「ICTリテラシー」(~~96~~回目)
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「ICTリテラシー」(~~54~~回目) ・パスワード、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介、悪意ある情報搾取「ICTリテラシー」(~~54~~回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類、データの分布と代表値、データのばらつき「統計学1」(1回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、全数調査、単純無作為抽出)、観測データに含まれる誤差の扱い「統計学1」(2回目) ・データの分布(ヒストグラム)「医療のための情報学」(15回目) ・クロス集計表、分割表「医療のための情報学」(17回目) ・相関と因果(相関係数)「統計学1」(1回目)
	2-2	・データ表現(棒グラフ)「医療のための情報学」(7回目) ・データ表現(散布図)「医療のための情報学」(9回目) ・データの比較(A/Bテスト)「統計学1」(8回目)
	2-3	・データの集計「統計学1」(1回目) ・データ解析ツール「医療のための情報学」(7回目) ・表形式のデータ(csv)「医療のための情報学」(23回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

・データ・AIの知識や利活用はデジタル社会において重要な素養であることを理解し，説明することができる。
・データを読み，説明し，正しく扱うことができる。
・ねつ造・改ざん・盗用(剽窃)が不正行為である事を理解し，著作権や情報の信憑性に留意して適切に引用することができる。
・上の3つの事項を踏まえ、医療現場において数理的・倫理的に適切にデータを扱うことができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容　※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、**「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」**(2024年2月　数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
~~・「行動科学1a」では、講師がChatGPT の概要を説明した後、文章作成の実演をした。~~ ・「ICTリテラシー」において、生成AIを活用したレポートの書き方の講義とグループワークを行った。

様式1－2

大学等名	愛知医科大学
プログラム名	愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件　　学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

看護学部

③ 修了要件

プログラムを構成する「情報科学I」1単位、「情報科学II」1単位、「統計学」2単位の計4単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数　3 科目　4 単位　履修必須の有無　令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報科学I	1	○	○	○					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報科学I	1	○	○	○					

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報科学I	1	○	○	○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報科学I	1	○	○	○					

⑧「実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報科学II	1	○			○						
統計学	2	○	○	○							

⑨ 選択「4．オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
統計学	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
（1）現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会「情報科学Ⅰ」（1回目）
	1-6	・AI最新技術の活用例(強化学習など)「情報科学Ⅰ」(7回目）
（2）「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・ビッグデータ、IoT、第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会「情報科学Ⅰ」(1回目）
	1-3	・研究開発、調達、製造、物流、マーケティング、販売、サービス「情報科学Ⅰ」(1回目）
（3）様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析(予測、発見)、データの可視化(グラフ、地図)、非構造化データの処理(自然言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理)「情報科学Ⅰ」(7
	1-5	・データサイエンスのサイクル、ヘルスケアにおけるデータ利活用事例「情報科学Ⅰ」(3回目）

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・個人情報保護「情報科学Ⅰ」(4回目)
	3-2	・暗号化、パスワード「情報科学Ⅰ」(6回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類「統計学」(1回目) ・データの分布と代表値、データのばらつき「統計学」(2回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、全数調査、単純無作為抽出)、観測データに含まれる誤差の扱い「統計学」(6回目) ・クロス集計表、分割表「統計学」(13回目) ・相関と因果(相関係数)「統計学」(14回目)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ)「統計学」(2回目) ・データ表現(散布図)「統計学」(14回目)
	2-3	・データの集計、データの並べ替え「情報科学Ⅱ」(10回目、11回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

・データサイエンス・AIを理解し、活用できる。
・データを適切に読み、説明し、扱うことができる。
・セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。
・上の3つの事項を踏まえ、医療現場において数理的・倫理的に適切にデータを扱うことができる。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、**「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」**(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

医　療　の　た　め　の　情　報　学

【医療のための情報学（前学期）　単位数：１単位，授業13コマ（定期試験含まず）】
【医療のための情報学（後学期）　単位数：１単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

科目担当者
箕浦哲嗣（非常勤講師）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅱ-６-ｃ，Ⅲ-９-ｃ，Ⅲ-10-ｃ）

① コンピテンスである「コミュニケーション」の中の「ICT(Information and Communication Technology)の活用」に向けて，医学，医療データを適切に処理し，プレゼンテーションする技術を身につける。
② 確率を用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し，医学，生物学でよく遭遇するデータに統計手法を適用する際に生じる問題点及び統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。また，データサイエンス・AIの基本的事項を学び，利活用に向けた基礎的なスキルを身につける。

（２）　学修目標

医療のための情報学（前学期）：

① コンピューターおよびネットワーク（LANとWAN）などの基本的な仕組みを説明できる。
② ワープロソフトの機能を活用して効果的なレポートを書くことができる。
③ 表計算ソフト，統計ソフトを利用して，データの集計，分析，適切なグラフ化ができる。
④ 情報セキュリティに関連する諸問題を理解し，対策を説明できる。
⑤ 画像処理の基本を理解し，目的に応じた画像処理を行うことができる。
⑥ 医学文献のデータベースを適切に使用することができる。
⑦ 医学・医療に関する情報を処理し，効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

医療のための情報学（後学期）：

① 社会におけるデータ・AI利活用の基本事項を説明できる。
② 表計算ソフトを利用して，データの集計，可視化ができる。
③ ２変量の散布図を描き，回帰と相関の違いを説明できる。
④ 表計算ソフトを利用したデータの分析ができる。
⑤ Python を用いた簡単なプログラミングができる。
⑥ 統計ソフトを利用したデータの分析ができる。
⑦ 扱うデータに応じた適切な分析手法を選択できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70％	記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
活動状況	○	30％	各講義の配付資料及び課題について，AIDLE-Kに記録されたアクティビティを点数化する。 【再評価】やむを得ない理由で欠席した場合は，事情に応じて対応する。科目担当者へ問合せすること。
態度	○	―	態度不良の場合は，総合成績から10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：　評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：　再試験はレポートにより評価する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題，及び総括をAIDLE-Kに掲載する。

4　教科書

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
データ・AI 利活用のための情報リテラシー入門	白井詩沙香(編)	培風館	数理・データサイエンス・AI と情報リテラシーの両方が学べる。

5　参考図書

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
基礎医学統計学	加納克己ほか	南江堂	「統計学1」との連携が取れる。
医療と AI はじめの一歩	宮野　悟／監，中林潤，木下淳博，須藤毅顕／編	羊土社	授業で扱う「肺の X 線画像の分類」を含め，Python による AI プログラミングの入門向け解説書である。
EZRでやさしく学ぶ統計学	神田善伸	中外医学社	授業で使うEZRの詳細な解説書

6　準備学習（予習・復習）

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

授業前日までにAIDLE-Kに配付資料を掲載するので，印刷し目を通しておくこと（1コマあたり約1時間）。

判らない語句に関しては，検索などして調べておくこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

医療のための情報学（前学期）：

マルチメディア教室において，１人１台のパソコン（指定席制）を用いて，演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い，事前に配付資料と課題を掲載し，授業終了時までに課題を回収する。なお，配付資料は各自印刷して授業に臨むこと。

医療のための情報学（後学期）：

マルチメディア教室において，１人１台のパソコン（指定席制）を用いて，演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い，事前に配付資料と課題を掲載し，授業終了時に課題を回収する。

（２）　講義の内容

医療のための情報学（前学期）：

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で，データ分析を含めたICTの利活用方法を修得する。ワープロソフト，表計算ソフト，プレゼンテーションソフトを中心に演習する。

医療のための情報学（後学期）：

データの取り扱いについての基本的なことを学んだ後，医学，生物学に関するデータに対する統計手法を学び，統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。プログラミングの演習も行う。

医療のための情報学（前学期）

（3）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/4/17(金)	1	B	講義	PC，OSの基礎	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/4/24(金)	1	B	講義	ネットワークと情報セキュリティ	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/5/1(金)	1	B	講義	学術活動のためのインターネット利用	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/5/8(金)	1	B	講義	アカデミックライティングを実現する文字入力	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/5/22(金)	1	B	講義	アカデミックライティングを実現する文書処理	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/6/5(金)	1	B	講義	静止画の編集，図形の描画	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/6/12(金)	1	B	講義	表計算アプリケーションの基本操作	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/6/19(金)	1	B	講義	学術活動に必要なデータ処理	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/6/26(金)	1	B	講義	データ集計，表とグラフ作成	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/7/3(金)	1	B	講義	エクセルの分析ツールの使い方	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/7/10(金)	1	B	講義	学術活動に必要なデータの可視化	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/7/17(金)	1	B	講義	説明技術としてのプレゼンテーション	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/7/24(金)	1	B	講義	プレゼンテーションの作成と発表方法	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2026/7/28(火)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**数学**	**教授(特任)**	**橋本　貴宏**	**101講**

医療のための情報学（後学期）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/9/4(金)	1	B	講義	社会におけるデータ・AI利活用	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/9/11(金)	1	B	講義	データリテラシー	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/9/18(金)	1	B	講義	データの取り扱いと表現	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/9/25(金)	1	B	AL	表計算ソフトによるデータ分析(1)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	AL		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/10/2(金)	1	B	AL	表計算ソフトによるデータ分析(2)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	AL		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/10/9(金)	1	B	講義	Pythonプログラミング(1)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/10/16(金)	1	B	講義	Pythonプログラミング(2)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/10/23(金)	1	B	講義	Pythonプログラミング(3)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/11/6(金)	1	B	AL	肺のX線画像の分類	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	AL		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/11/13(金)	1	B	講義	医療統計と解析ソフト	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/11/20(金)	1	B	AL	統計解析ソフトEZR	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	AL		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/11/27(金)	1	B	AL	EZRによる回帰分析	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	AL		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/12/4(金)	1	B	講義	情報学まとめ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2026/12/22(火)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**数学**	**教授(特任)**	**橋本　貴宏**	**101講**

8 オフィスアワー

医療のための情報学(前学期・後学期)

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	16:30～18:30	3号館基礎科学棟2階B202号室
箕浦　哲嗣	非常勤講師	愛知県立大学　看護学部・教授	講義終了後，講義室にて		

Ｉ　Ｃ　Ｔ　リ　テ　ラ　シ　ー

【単位数：0.5単位，授業10コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅱ-６-ｃ，Ⅲ-９-ｃ）

① コンピテンスである「コミュニケーション」の中の「ICT（Information and Communication Technology）の活用」を獲得するために，情報を適切に処理し，正しく活用していく技術を身につける。
② 情報・科学技術を医療に活用する際のルールを理解した上で，医学の学修に向けた情報機器の活用スキルを身につける。

（２）　学修目標

① 医学部での学修において必要なICTツールを使えるようになる。
② 情報検索を適切に行い，図書館資料を含め様々な文献を利用することができる。
③ 医療情報の安全な管理のための情報セキュリティ・個人情報保護について説明することができる。
④ 人工知能の仕組みを理解したうえで，適切に活用できるようになる。
⑤ データ・情報を扱う際に必要な倫理観を身につける。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
活動状況	○	―	各講義でのワーク及び課題により評価する。 【再評価について】 やむを得ない理由で欠席した場合は，事情に応じて対応する。科目責任者へ問合せすること。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各講義でのワーク及び課題は，次回の講義又はAIDLE-Kにおいて指導や解説を行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
データ・AI 利活用のための情報リテラシー入門	白井詩沙香(編)	培風館	「医療のための情報学」の指定教科書であり，AIリテラシーと情報リテラシーの両方が学べる。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
データサイエンス入門	竹村彰通他(編)	学術図書出版社	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム(改訂版)に準拠している。

6　準備学習（予習・復習）

事前にAIDLE-Kに学修項目を掲載するので，教科書及び資料に目を通しておくこと(1コマあたり約1時間)。
授業内に消化できなかった項目を復習しておくこと(1コマあたり約1時間)。

7　授業計画

（1）　講義の方法

マルチメディア教室で行う授業では，1人1台のパソコン(指定席制)を用いて，演習やグループワークを伴った講義をおこなう。 AIDLE-Kに配付資料を事前に掲載し，予習をしておくことで，授業終了時までに課題を終わらせることを原則とする。なお，各自所有の情報端末も持参すること。

（2）　講義の内容

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で，医学部の学修のためのICTの利活用方法を修得する。初週の授業は，1学年次担当の複数の教員によるアカデミックスキルの講義があり，2週目には 2学年次の学生によるICT活用法のプレゼンテーションがある。

ＩＣＴリテラシー

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/4/13(月)	1	ー	講義	ガイダンス，受講のためのICTスキル	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/13(月)	2	ー	講義	学術情報の検索	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/13(月)	3	ー	AL	学びを深めるための文章表現入門	哲学 数学 外国語 外国語	講師 教授(特任) 准教授 助教	川﨑　優 橋本　貴宏 平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2026/4/14(火)	1	ー	講義	情報セキュリティ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/14(火)	2	ー	演習	メール演習	アドミC	教授	仙石　昌也	マルチAB
2026/4/15(水)	1	ー	講義	AI利活用における留意事項	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/15(水)	2	ー	講義	AIの仕組み	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/15(水)	3	ー	AL	AI利用に関する演習	数学 心理学 アドミC	教授(特任) 教授 教授	橋本　貴宏 宮本　淳 仙石　昌也	101講
2026/4/16(木)	5	ー	講義	個人情報・プライバシー	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/4/20(月)	6	ー	AL	学修のためのICT活用	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB

8 オフィスアワー　　ICTリテラシー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	16:30～18:30	3号館基礎科学棟2階B202号室
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B203研究室
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
仙石　昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:30～18:00	3号館基礎科学棟1階 B101号室

統　計　学　1

【単位数:0.5単位，授業10コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅲ-1-c，Ⅲ-10-c)

① コンピテンスである「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。

② 身体の検査から薬効の判断，そして人工知能まで，様々な応用がある統計学の知識を身に付け，それらを正しく運用する能力を養うことを目標とする。

(2)　学修目標

① データを読み，説明し，正しく扱うことができる。

② 推測統計の考え方を説明できる。

③ 相関と回帰について説明できる。

④ 母平均や母比率の信頼区間について説明できる。

⑤ 2×2 分割表の独立性の検定ができる。

⑥ 平均値の差を検定できる。

⑦ データに応じて，最適な検定の方法を述べることができる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	75%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	25%	全講義終了後にレポート課題の提出をする。
態度	○	—	態度不良の場合は，総合試験から10点を限度に減点をする。

出席:　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

課題・レポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業で答える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
基礎医学統計学	加納克己ほか	南江堂	医療系で使われる統計手法について，基礎概念から応用まで記述されている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための入門統計	勝野恵子 ほか	共立出版	数学的な解説が丁寧な統計学のテキストである。
バイオ統計の基礎	柳川堯 荒木由布子	近代科学社	コアカリの統計手法に加え，数学的基礎も押さえられている。

6　準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。
授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し，次回の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後，後半に課題演習を行い，AIDLE-Kに提出する。演習主体であるので能動的に受講すること。また，この科目用のノート及び統計計算が可能な情報端末を用意すること。

（2）　講義の内容

医学から人文科学に至るまで，さまざまな科学の土台となっている統計学を学修する。医療統計やEBMを学ぶ準備にもなっている。高等学校数学I「データの分析」，数学A「場合の数と確率」及び数学B「確率分布と統計的な推測」の知識を前提として講義する。

統計学１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/4/23(木)	5	－	講義	統計学を学ぶために	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/4/30(木)	5	－	講義	データの記述	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/5/7(木)	5	－	講義	確率と確率分布	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/6/4(木)	5	－	講義	統計的推測	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/6/11(木)	5	－	講義	2群の比較1	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/6/18(木)	5	－	講義	2群の比較2	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/6/25(木)	5	－	講義	分割表の解析	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/7/2(木)	5	－	講義	区間推定1	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/7/9(木)	5	－	講義	区間推定2	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2026/7/16(木)	5	－	講義	統計学のまとめ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講

８ オフィスアワー

統計学1

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	16:30～18:30	3号館基礎科学棟2階B202号室

講義名	情報科学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅰ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	現在多くの医療機関では医療情報システム（いわゆる電子カルテ）が導入されるとともに、地域を含めた広域のネットワークが構築されている。また近年では、医療情報システムにＡＩが導入されつつある。 本科目は、情報化によって医療・看護に何がもたらされるかに着目し、蓄積された情報の有効活用、安全性確保、更に患者データの不備・誤りによる医療ミスや医療過誤の危険性について学ぶ。また、情報機器の仕組みや、医療情報システム利用における基礎能力としてタイピングや文書作成やデータ入力・加工について学ぶ。またデータサイエンス・ＡＩの基本的な知識やスキルについても学ぶ。
目標	１　ネットワークとコンピュータ(パソコン・タブレット・スマホなどの機器)の基本的な概念を説明できる。「DP：５」 ２　セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。「DP：１・５」 ３　データサイエンス・ＡＩを理解し、データを適切に扱え、活用できる。「DP：５」 ４　WordやExcelを用いて情報を積極的に利活用できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/17 (金)	1	ガイダンス、看護情報学とは 看護師に要求される看護情報能力 社会で起きている変化と活用されているデータ データ・ＡＩの活用領域	講義	前：看護情報学、Society5.0について調べる。 後：講義内容をまとめる。特にSociety5.0での看護について考えてまとめる 前後各30分	片山　清和
2	2026/04/24 (金)	1	コンピュータの基礎 インターネットの仕組み 電子メールの利用	講義	前：コンピュータシステムについて調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
3	2026/05/01 (金)	2	看護における情報利活用 情報とは データ・情報・知識・知恵 情報の利活用 データ・ＡＩ利活用の現場	講義	前：看護情報について調べ、教１p.63-78を読む。 後：講義内容をまとめる。特に看護におけるＡＩの利活用をまとめる。 前後各30分	片山　清和
4	2026/05/08 (金)	2	個人情報と情報倫理 個人情報とプライバシー 個人情報保護 看護における個人情報保護 データ・ＡＩ利活用における留意事項	講義	前：個人情報、個人情報保護法について調べ、教１p.95-104を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
5	2026/05/15 (金)	1	知的財産権 産業財産権 著作権	講義	前：知的財産権について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和

6	2026/05/22 (金)	1	医療情報システム 　医療情報システム 　医療情報システムと情報セキュリティ 　データを守る上での留意事項	講義	前：医療情報システムについて調べ、教１p.112-116を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
7	2026/05/29 (金)	2	データ・ＡＩ 　データ・ＡＩ利活用のための技術と現場 　データ・ＡＩ利活用の最新動向	演習	前：教１p.23-46を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
8	2026/06/05 (金)	2	Word①：文書の作成 　タイピングの仕方 　書式設定 　文書印刷	演習	前：教２p.24-62を読みWordの使い方と文字入力の方法を理解する。 後：タイピング練習を行い、講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
9	2026/06/19 (金)	1	Word②：編集、表の作成、画像の挿入 　配置設定 　文字装飾 　表の作成 　画像の挿入・編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.66-101を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
10	2026/06/26 (金)	1	Excel①：データ入力とワークシート編集 　表の作成 　表の印刷	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.104-124を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
11	2026/07/03 (金)	2	Excel②：グラフ作成と編集 　グラフ作成 　グラフの編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.125-136を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
12	2026/07/10 (金)	2	Excel③：基本的な関数と条件関数 　SUM関数とAVERAGE関数 　MAX関数とMIN関数 　COUNT関数とRANK関数 　IF関数	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.144-159を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
13	2026/07/17 (金)	1	Excel④：データベース機能 　LOOKUP関数 　テーブル作成 　ピボットテーブル	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.164-188を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
14	2026/07/24 (金)	1	PowerPoint：スライドの作成とスライドショー 　スライドの作成と編集 　プレゼンテーション	演習	前：タイピング練習を行う。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
15	2026/07/31 (金)	2	タイピングテスト	演習	前：タイピング練習を行う。 後：Word、Excelの操作を復習する。 前後30分	片山　清和
16	2026/08/07 (金)	2	定期試験			片山　清和

評価方法	小テスト、レポート：10%、タイピングテスト：20%、提出課題：30%、定期試験：40% ・タイピングテスト高得点者には追加点を与える
教科書・参考書	教科書： １　岡嶋裕史・吉田雅裕著「［改訂新版］はじめてのＡＩリテラシー」（2024）、技術評論社、定価 1,848円（税込み） ２　実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」（2022）、実教出版、定価 1,100円（税込み）

	参考書： 太田勝正・前田樹海著「エッセンシャル看護情報学 2022年版」、医歯薬出版株式会社、2,750円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 事前・事後学習をしっかり行うこと。特に事後学習を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 教１：教科書「はじめてのＡＩリテラシー」 教２：教科書「30時間でマスター　Word & Excel 2021」
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	第２回から第６回まで講義時に確認テストを行う。(毎回10分程度) 第７回には第１回から第６回までの内容の小テストを行う。(30分程度) ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅱ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	現代社会において看護を含むあらゆる分野で文書を作成したり、データから表やグラフを作成したり、提案や教育・指導のためにプレゼンテーションをすることが求められている。 本科目はWord、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学ぶ。具体的には、Wordでは論文やビジネス文書に必要なインデント、段組、箇条書き、段落番号、スタイルなどの使い方を学び、Excelでは関数を用いた高度な集計、データ分析に必要なピボットテーブルやピボットグラフについて学び、データを読んだり扱ったりするすることも学ぶ。またWordとExcelの連携についても学ぶ。さらにPowerPointでは視覚資料の基本的な作り方から、グラフや図形やSmartArtの使い方やスライドマスターを用いたスライド全体のデザイン設定について学ぶ。
目標	１　Wordを用いて、段組やインデントなどを使い、表や図形などを挿入した文書を作成できる。「DP：５」 ２　Excelを用いて、関数を使った集計や基本的な統計処理ができる。「DP：５」 ３　データを適切に読み、適切に扱うことができる。「DP：５」 ４　WordとExcelを適切に連携できる。「DP：５」 ５　PowerPointを用いて、プレゼンテーション資料の作成ができる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2026/09/18（金）	2	ガイダンス、Word① 基本的な文書の作成 図や表の挿入 印刷	演習	前：教W-1からW-39を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
2	2026/09/25（金）	2	Word② ワードアート タブ 段組設定 見出し設定 脚注 ページ番号設定	演習	前：教W-40からW-61を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
3	2026/10/02（金）	1	Word③ 文書の校閲 数式の入力 練習問題①	演習	前：教W-62からW-75を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
4	2026/10/09（金）	1	Word④ 練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和

5	2026/10/16 (金)	2	Excel① 　データの入力 　表の作成と編集 　表の印刷 　グラフの作成	演習	前：教E-1からE-37を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
6	2026/10/23 (金)	2	Excel② 　データベース操作 　複数シートの操作 　関数 　表示形式	演習	前：教E-38からE-80を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
7	2026/10/30 (金)	1	Excel③ 　条件付き書式 　高度なグラフ 　ピボットテーブル 　テーブル	演習	前：教E-81からE-111を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
8	2026/11/06 (金)	1	Excel④ 　マクロ 　WordとExcelの連携 　練習問題①	演習	前：教E-112からE-127を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
9	2026/11/13 (金)	2	Excel⑤ 　練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
10	2026/11/20 (金)	2	PowerPoint① 　プレゼンテーションの作成 　オブジェクトの挿入 　構成の変更 　切り替え効果とアニメーション 　印刷	演習	前：教P-1からP-43を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
11	2026/11/27 (金)	1	PowerPoint② 　別アプリのデータ利用 　スライドマスター 　スライドショー	演習	前：教P-44からP-64を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
12	2026/12/04 (金)	1	PowerPoint④ 　練習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
13	2027/01/08 (金)	2	演習問題①	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
14	2027/01/15 (金)	2	演習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和

15	2027/01/22 （金）	1	演習問題③	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
16	2027/01/29 （金）	2	定期試験			片山　清和

評価方法	提出課題：40%、定期試験：60%
教科書・参考書	教科書：株式会社富士通ラーニングメディア著：「情報リテラシー Windows11 Office2024／Microsoft365対応」、FOM出版、初版（2026/1/13）、定価 2,310円（税込み） 参考書：実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」、実教出版、初版（2022/10）、定価 1,100円（税込み） 岡嶋裕史・吉田雅裕著「［改訂新版］はじめてのＡＩリテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 事前・事後学修をしっかり行うこと。特に事後学修を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 教：教科書
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	統計学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Statistics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 箕浦　哲嗣

科目概要	統計に関する基礎知識はあらゆる分野で必要であり、とくにメディカル／コ・メディアカルの分野では、身体の検査から、薬効の判断等々、更に保健所の調査まで、統計が使われる場面が非常に多い。看護研究においても量的研究を実施し、臨床看護・地域看護など様々な看護ケア関連のデータを分析する上でも、記述統計学・推測統計学の知識・技術が必須となる。また研究者でなくとも、保健統計資料や量的研究結果を正しく理解し利用するためには、統計学の知識を持つことが重要となる。本科目では、様々な場面で使われる統計の知識を身に付け、それらを正しく運用する能力を養う。
目標	１　看護研究において必要な統計リテラシーを修得できる。「DP：５」 ２　データを読み、説明し、扱うことができる。「DP：５」 ３　いくつかの確率分布、さらには推定・検定に使われる式の意味を説明できる。「DP：５」 ４　区間推定を行うことができる。「DP：５」 ５　仮説検定を行うことができる。「DP：５」

授業計画表

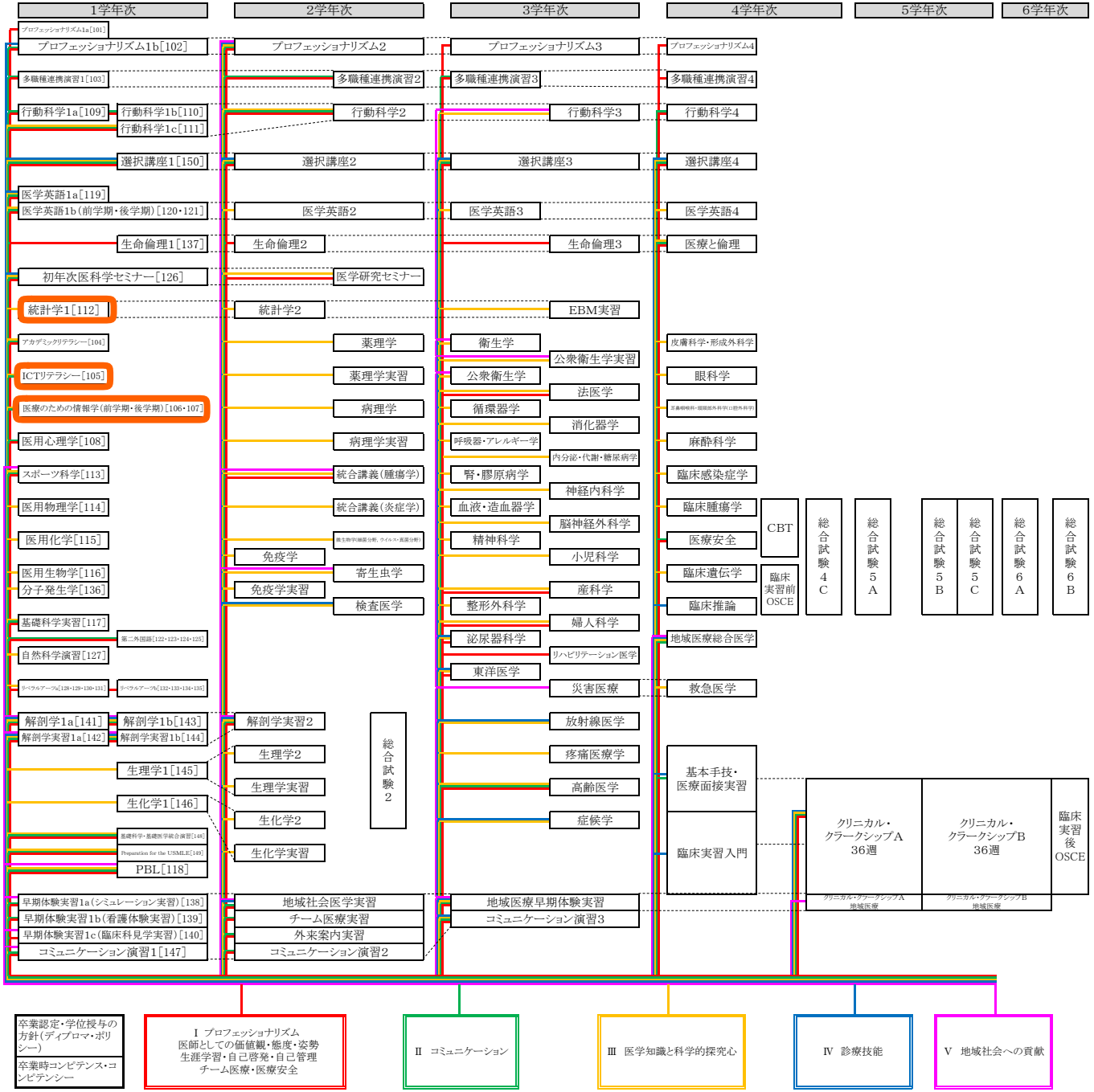
回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2026/09/18（金）	3	データ・ＡＩの技術	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
2	2026/09/25（金）	3	データを読み、説明し、扱う	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
3	2026/10/02（金）	3	確率と確率分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
4	2026/10/09（金）	3	記述的解析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
5	2026/10/16（金）	3	大事な分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。	箕浦　哲嗣

					後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	
6	2026/10/23 （金）	3	区間推定と t 分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
7	2026/10/30 （金）	3	検定2 標本と母集団の平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
8	2026/11/06 （金）	3	独立サンプルの平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
9	2026/11/13 （金）	3	対応のあるサンプルの平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
10	2026/11/20 （金）	3	一元配置分散分析 多重比較 ３群以上の平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
11	2026/11/27 （金）	3	比率の差の検定 適合度の検定、独立性の検定、イエーツの連補正	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
12	2026/12/04 （金）	3	相関と回帰 相関係数、回帰直線、母相関検定、順位相関係数、 相関係数の信頼区間	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
13	2027/01/08 （金）	3	多変量解析 連立方程式の解法 重回帰分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
14	2027/01/15 （金）	3	多変量解析 ロジスティック回帰分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
15	2027/01/22 （金）	3	因子分析（論文読解） 探索的因子分析 確証的因子分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
16	2027/01/29 （金）	3	定期試験			箕浦　哲嗣

評価方法	授業中に課す課題をAIDLE-Kで活動量として得点化します。定期試験は70%、活動量30%で評価します。
教科書・参考書	教科書は使用しません。AIDLE-Kで配付する資料を、印刷して熟読してから授業に臨んでください。
履修上の注意点 及び取扱い	１　電卓(ルートの計算が可能なもの：スマホ不可）および講義用配付資料を必ず準備すること。 ２　AIDLE-Kを活用しますので、予習復習に用いること。得点化されます。 ３　提出課題に記載された学生のコメントには、次回の授業にてフィードバックします。 ４　提出課題は次週までに提出すること。提出が無い場合は欠席とします。２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができません。 ５　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施します。再試験に不合格の場合は次年度に再履修を要します。
オフィスアワー	講義開始前および終了後に受け付けます。
備考	AIおよび統計学に関して、最新の知見を取り入れて授業を構成しています。

履修系統図 2026年度入学生

［ ］は科目コード一覧を参照。



別表1－1(看護師課程)

履修年次別授業科目構成表

科目群		1学年次		2学年次		3学年次		4学年次	
教養科目群	人文科学	国語表現法① 英語Ⅰ① 哲学(1) 文学(1)	英語Ⅱ① 教育学(1) 音楽(1)			医療英語(1) 手話(1) 中国語(1) スペイン語(1)			
	社会科学					憲法学[2] 文化人類学(1) 経済学(1) 家族社会学(1)			
	自然科学	数学(1) 生命科学(1) 化学(1) 物理学(1)	統計学②						
	情報科学	情報科学Ⅰ①	情報科学Ⅱ①						
専門基礎科目群	人間の理解	心理学② 人間学① 形態機能学Ⅰ②	形態機能学Ⅱ④ 生化学②			社会福祉学②			
	健康の理解	運動の科学(1) 体育実技(1)	感染・免疫学② 病理学①	薬理学① 病態治療学Ⅰ② 病態治療学Ⅱ②	病態治療学Ⅲ②				
	環境の理解	栄養学① 環境保健学①	公衆衛生学②	疫学②	保健医療福祉行政論Ⅰ①				
看護学専門科目群	基礎看護	コミュニケーション論② 看護学原論Ⅰ①	看護学原論Ⅱ① ヘルスアセスメント① 基礎看護技術Ⅰ②	基礎看護技術Ⅱ① 看護過程論①				看護倫理① 感染看護学②	
	地域・在宅看護	ヘルスプロモーション論①			公衆衛生看護学Ⅰ② 学校看護学(1) 産業看護学(1)	公衆衛生看護学Ⅱ① 地域・在宅看護論Ⅰ② 健康教育論[1]	地域・在宅看護論Ⅱ①	災害看護学①＊	
	ヘルスプロモーション看護		生涯発達論①	母性看護学Ⅰ② 小児看護学Ⅰ② 老年看護学Ⅰ② 家族看護学①					
	健康レベル別看護			老年看護学Ⅱ②	母性看護学Ⅱ② 小児看護学Ⅱ② 成人看護学Ⅰ② 精神看護学Ⅰ②	成人看護学Ⅱ② 成人看護学Ⅲ② 精神看護学Ⅱ② クリティカルケア論① ターミナルケア論① リハビリテーションケア論①			
	総合看護	教養ゼミナール①				看護研究方法論①	実践看護英語① 国際看護学Ⅰ① 卒業研究Ⅰ①	国際看護学Ⅱ①　チーム医療論(IPE)①＊ 看護管理論① 卒業研究Ⅱ②	
臨地実習	ヘルスプロモーション実習	ヒューマニティ実習①			コミュニティ実習① 母性看護学実習Ⅰ① 小児看護学実習Ⅰ① 老年看護学実習②				
	基礎看護実習		基礎看護学実習Ⅰ①	基礎看護学実習Ⅱ② 形態機能学実習①					
	健康レベル別実習						成人看護学実習Ⅰ② 成人看護学実習Ⅱ② 精神看護学実習② 母性看護学実習Ⅱ① 小児看護学実習Ⅱ①		
	アドバンスケア実習							地域・在宅看護実習② クリティカルケア実習(1) プライマリケア実習(1)	
	統合実習								統合看護実習③

※ ○は必修科目，( )は選択科目，[ ]は自由科目，数字は単位数を示す。　＊は1学年次から開講し，単位認定を4学年次に実施する科目を示す。

大学等名	愛知医科大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム	申請年度	令和６年度

愛知医科大学　メディカルデータサイエンス教育プログラム　取組概要

プログラムの目的と身に付けられる能力

Society 5.0 時代の医療を実践できる数理・データサイエンス・AIの基礎を身に付ける。

- 医療データをはじめとして、データの適切な取り扱いができるようになる
- 医療現場でデータサイエンス・AIの技術を利用できるようになる

開講科目と修了要件

両学部とも、選択科目以外のすべての科目を修得すること

医学部	看護学部
医療のための情報学	情報科学Ⅰ
ICTリテラシー	情報科学Ⅱ
統計学1	統計学

実施体制

プログラムの改善・進化
愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会

自己点検・評価
愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会